

第5章

地域別構想

- 1 地域別構想の考え方
- 2 東部地域
- 3 西部地域
- 4 南部地域
- 5 北部地域

「未来の光市」絵画コンクール
まちづくり市民協議会会長賞



「青い海と心やすらぐまち」

光井中学校 1年 久保田篤行さん

第5章 地域別構想

1 地域別構想の考え方

(1) 地域別構想の目的

地域別構想は、分野別の方針に沿った都市づくりを各地域で推進していく上での指針となるものです。将来都市像の実現のため、各地域の特性や課題に応じ、様々な取組みを計画的に展開していきます。

(2) 地域の設定

「新市建設計画」や「総合計画」において設定した、東部地域、西部地域、南部地域、北部地域の4つの地域に分け、各地域の都市づくりの方針を示します。

| | |
|------|------------------|
| 東部地域 | 岩田・三輪・塩田・東荷・岩田立野 |
| 西部地域 | 浅江・島田（中島田を含む）地区 |
| 南部地域 | 室積・光井地区 |
| 北部地域 | 三井・周防・上島田地区 |



(3) 地域別構想の構成

各地域の都市づくりの方針について、次の項目により取りまとめます。

- ① 地域の特性と課題
- ② 地域の都市づくりに関する住民意向

市民アンケート調査、中学生アンケート調査の地域別の集計や、平成23年度に各地域で開催した「地域別まちづくり・きらめきワークショップ（以下「地域別ワークショップ」といいます。）」で出された意見から、地域住民の意向を取りまとめます。

- ③ 地域の都市づくりの方針

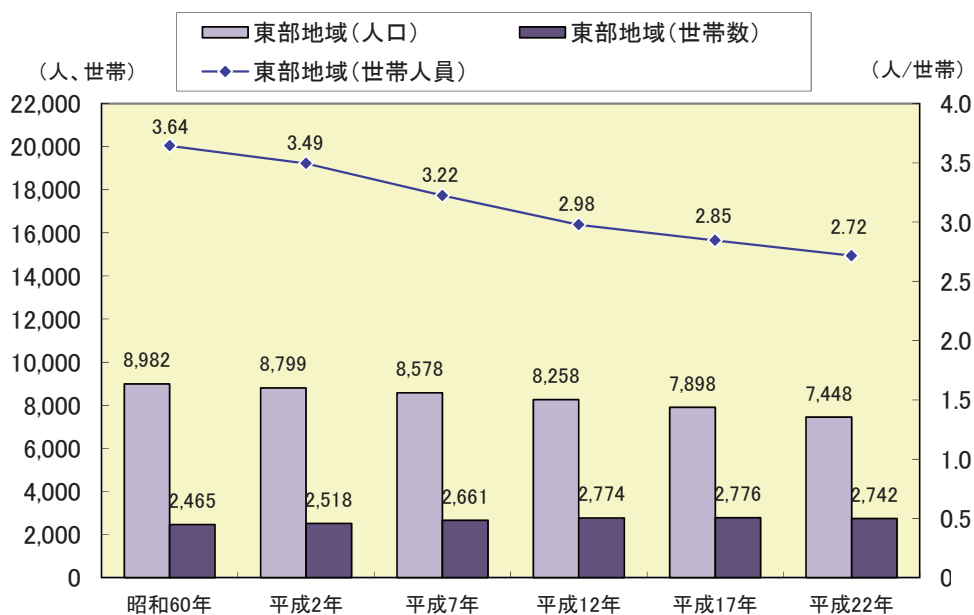
各地域の特性を踏まえ、課題を解決する取組みの方針について、「都市づくりの方針」で示した5つの分野ごとに整理します。

2 東部地域

(1) 東部地域の特性と課題

- JR岩田駅を中心とするエリアに市街地が形成されており、光市役所大和支所や大和総合病院、老人保健施設、郵便局、駐在所などの公共機関や医療機関が立地しています。人口減少や高齢化が進む中、交通拠点としての駅やその周辺の生活の利便性を活かし、コンパクトな市街地形成による拠点性の向上が求められます。
- 周辺部の地域は、石城山県立自然公園に指定されている区域や優良な農地に囲まれ、豊かな自然環境に恵まれています。集落では、地域コミュニティの衰退が懸念されるとともに、後継者や担い手不足により、農地や山林の荒廃につながる懸念があります。持続的な住宅地・集落の形成に向けた地域コミュニティや農業環境の維持・保全が求められます。
- 石城山神籠石や伊藤公記念公園は、地域の誇る歴史・文化資源として周辺の自然環境と併せて保全するとともに、地域の活性化に向けた活用が求められます。

■ 人口・世帯数等の推移



出典：国勢調査

(2) 東部地域の都市づくりに関する住民意向

道路をはじめとする公共施設の使いやすさや、災害に強い都市づくりが求められています。地域の中学生は、自然環境やまちの景観を重視した都市づくりを望んでいます。

また、道路整備や買物の利便性、防災・防犯対策において、重点的な改善が求められており、特に生活道路や歩道の整備が、優先度の高い取組みとしてあげられます。

○ 市民アンケート調査、中学生アンケート調査における意見

【満足度と重要度の分布より】

| | 16歳以上の地域住民 | 地域の中学生 |
|-----------------|--|---|
| 重点改善領域に分類された取組み | <ul style="list-style-type: none"> 道路の通行しやすさ（自動車・バイク・自転車） 買物の便利さ 幅員の狭い道路の整備 高齢者・障害者の生活のしやすさ 土砂災害・風水害対策 まちの防犯対策 | <ul style="list-style-type: none"> 道路の通行しやすさ（自転車に乗るとき） 買物の便利さ 大地震のときの災害を防ぐ対策 大雨や台風のとくに洪水や土砂崩れなどを防ぐ対策 まちの防犯対策 |
| 重点維持領域に分類された取組み | <ul style="list-style-type: none"> 騒音・振動・悪臭などの公害対策 大気汚染・水質汚濁の防止 ごみのリサイクル化などの取組み | <ul style="list-style-type: none"> 森林や海岸など自然の環境を守ること 寺や神社の境内地の森を守ること |

【今後、重点的に取り組むべきもの】

| | 16歳以上の地域住民 | 地域の中学生 |
|-----|--|--|
| 第1位 | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ | ・ 道路の通行しやすさ（自転車に乗るとき） |
| 第2位 | ・ 道路の通行しやすさ（自動車・バイク・自転車） | ・ 買物の便利さ |
| 第3位 | ・ 買物の便利さ ・ 幅員の狭い道路の整備 ・ 子育て環境の充実 | ・ お年寄りや障害のある人の生活のしやすさ ・ 大地震のときの災害を防ぐ対策 ・ 大雨や台風のときに洪水や土砂崩れなどを防ぐ対策 |

○ 地域別ワークショップにおける意見

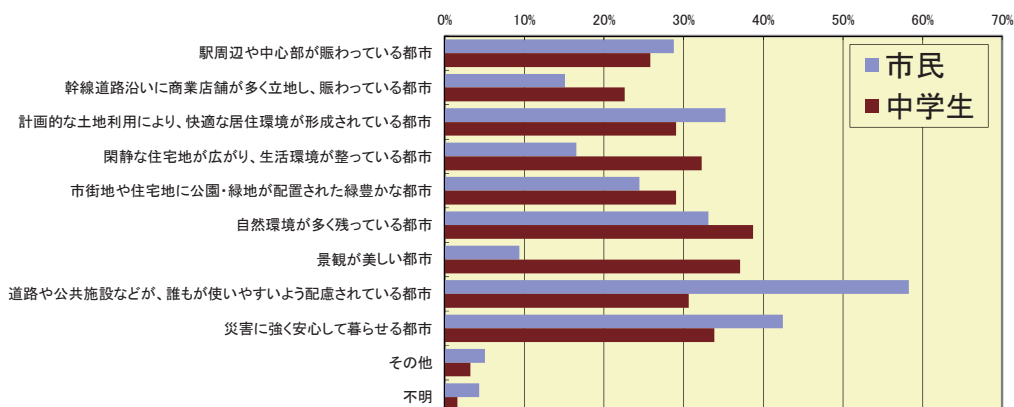
【地域の問題点・困っているところ】

| | グループ1 | グループ2 | グループ3 |
|-----|-------------------|--------------|--------------------|
| 第1位 | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ | ・ 土砂災害・風水害対策 | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ |
| 第2位 | ・ 道路（歩道）の歩きやすさ | ・ 地震防災対策 | ・ 駅周辺や市街地の都市景観の美しさ |
| 第3位 | ・ 買物の便利さ | ・ 子育て環境の充実 | ・ 買物の便利さ |

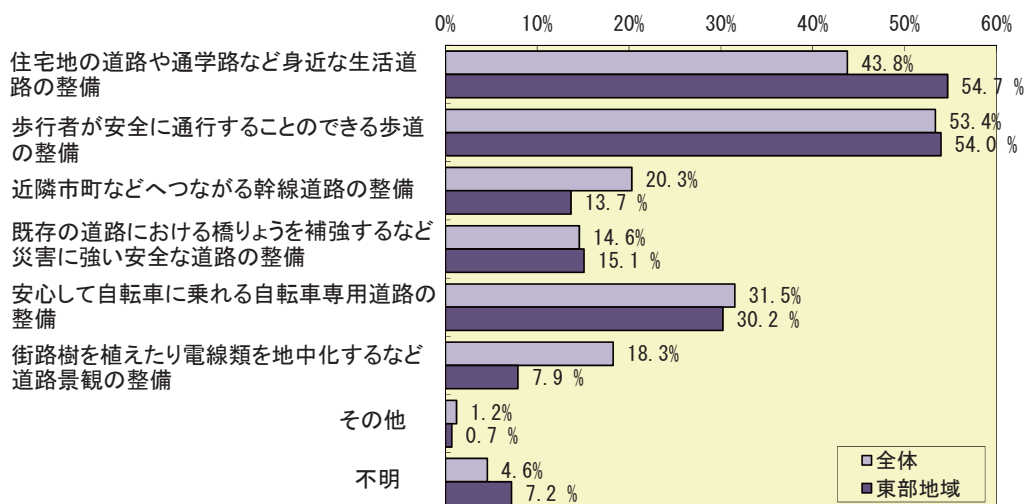
【地域のお宝・優れているところ】

| | グループ1 | グループ2 | グループ3 |
|-----|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 第1位 | ・ ごみのリサイクル化などの取組み | ・ ごみのリサイクル化などの取組み | ・ バスや鉄道の利用しやすさ |
| 第2位 | ・ 寺社や文化財など歴史的・文化的景観の保全 | ・ 広域（市外）へのアクセスのしやすさ | ・ 中山間地に広がる田園景観の保全 |
| 第3位 | ・ スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備・充実 | ・ スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備・充実 | ・ スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備・充実 |

【光市の将来の姿】



【道路の整備に関して、優先度が高い取組み】



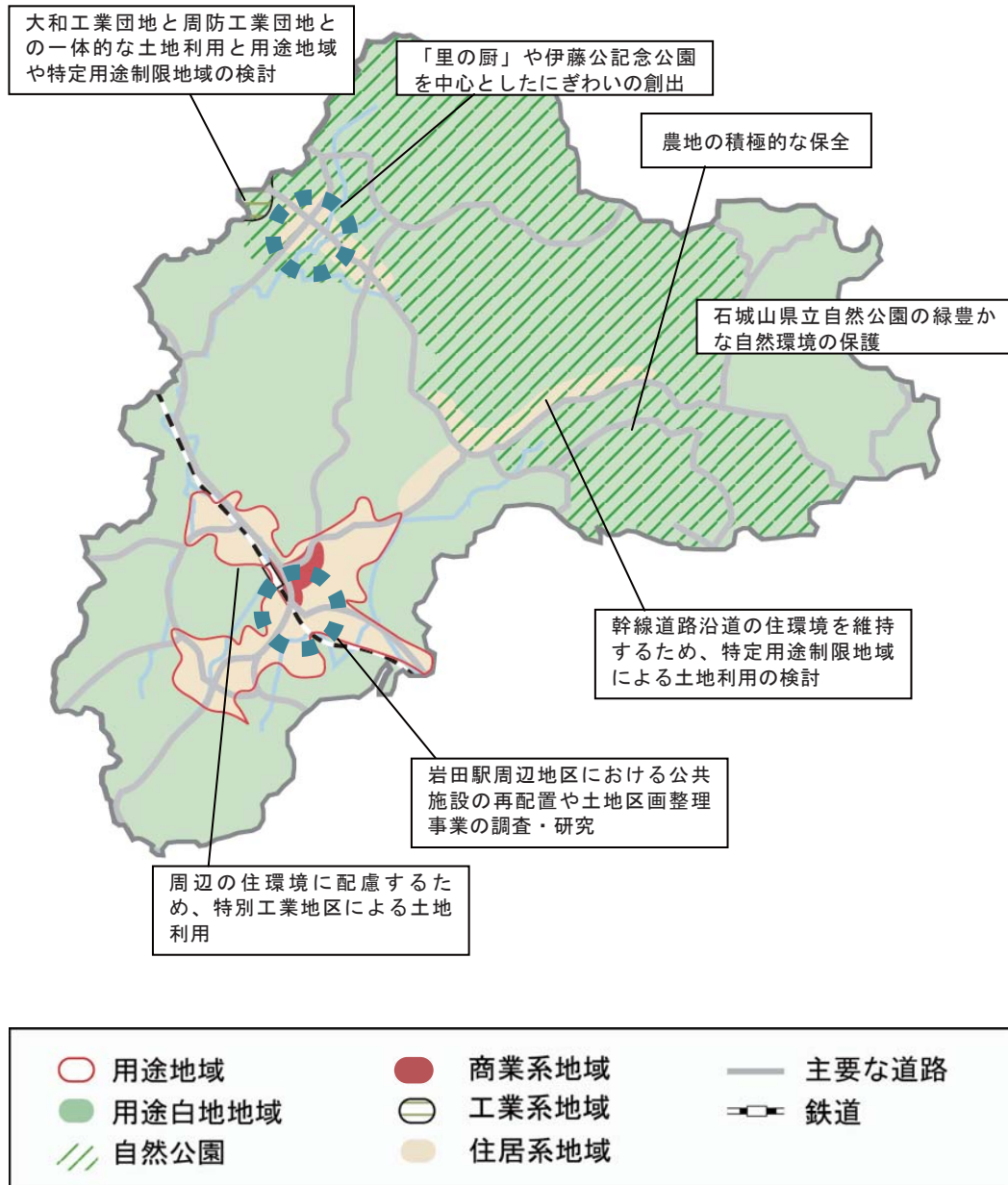
(3) 東部地域の都市づくりの方針

J R岩田駅周辺地区での土地区画整理事業の実施について調査・研究を行うとともに、生活機能の集約により、便利で住みやすいコンパクトなまちを目指します。また、周辺部の石城山県立自然公園や豊かな農地の保全・保護に努め、緑豊かな田園景観と共生した都市づくりを進めます。

① 土地利用の方針

- J R岩田駅周辺地区においては、宅地の利用増進や公共施設の再配置を念頭に、土地の有効利用に努めるとともに、生活に必要な機能の集積を図ります。
- 岩田地区の工業地については、周辺の住環境に配慮した制限を行うため、特別用途地区（特別工業地区）を定めます。
- 「大和工業団地」については、区域の拡大等による「周防工業団地」との一体的な利用について調査・研究を行います。また、用途地域や特定用途制限地域などにより工場の立地に特化した土地利用を検討します。
- 用途白地地域のうち、特に幹線道路の沿道においては、現在の居住環境を維持するため、特定用途制限地域などによる土地利用を検討します。
- 農業振興拠点施設「里の厨」や伊藤公記念公園を中心とした地区については、生活・交流拠点として、にぎわいの創出に努めます。
- 農業の振興を図るため、農地を積極的に保全します。
- 石城山県立自然公園の特別地域においては、緑豊かな自然の保護に努めます。

■ 土地利用方針図



② 道路・交通体系の方針

- 都市拠点地区である岩田駅周辺地区と他の拠点地区等との円滑な移動に資するとともに、地域の骨格を形成する道路整備のあり方について、調査・研究を行います。
- J R岩田駅周辺地区において快適で便利なまちづくりを進めるため、歩道と車道の分離や道路照明灯の設置など安全対策に努めます。
- 伊藤公記念公園へのアクセス向上を図るため、主要地方道光上関線と一般県道東荷一ノ瀬線の拡幅を進めます。
- 集落間を連絡する道路の整備に努めます。
- J R岩田駅の利活用について、調査・研究を行います。
- J R岩田駅の交通結節機能の強化と周辺地区との連絡強化のため、駐車場・自転車駐車場の整備や公共交通ネットワークの充実に努めます。
- J R岩田駅周辺地区や伊藤公記念公園付近においては、市街地景観や田園景観に配慮した道路附属施設の設置に努めます。
- 来訪者等の利便性を高めるため、自然環境に配慮した一般県道石城山公園線の整備に努めます。

③ 水とみどりの方針

- 地域のシンボルとなっている石城山の緑を積極的に保全します。
- 大和総合運動公園については、広域的な利用の促進のため、魅力ある公園づくりを進めます。
- 東荷川や溝呂井川、田布施川の治水対策を計画的に実施するとともに、水辺環境を保全し、ホタルや野鳥などの生態系を保全します。
- 石城山神籠石や伊藤公記念公園など豊富な歴史・文化や資源を活用した交流人口の増加を図ります。
- 横尾川をはじめとする砂防指定地を中心に、土砂災害など自然災害の対策を進めます。

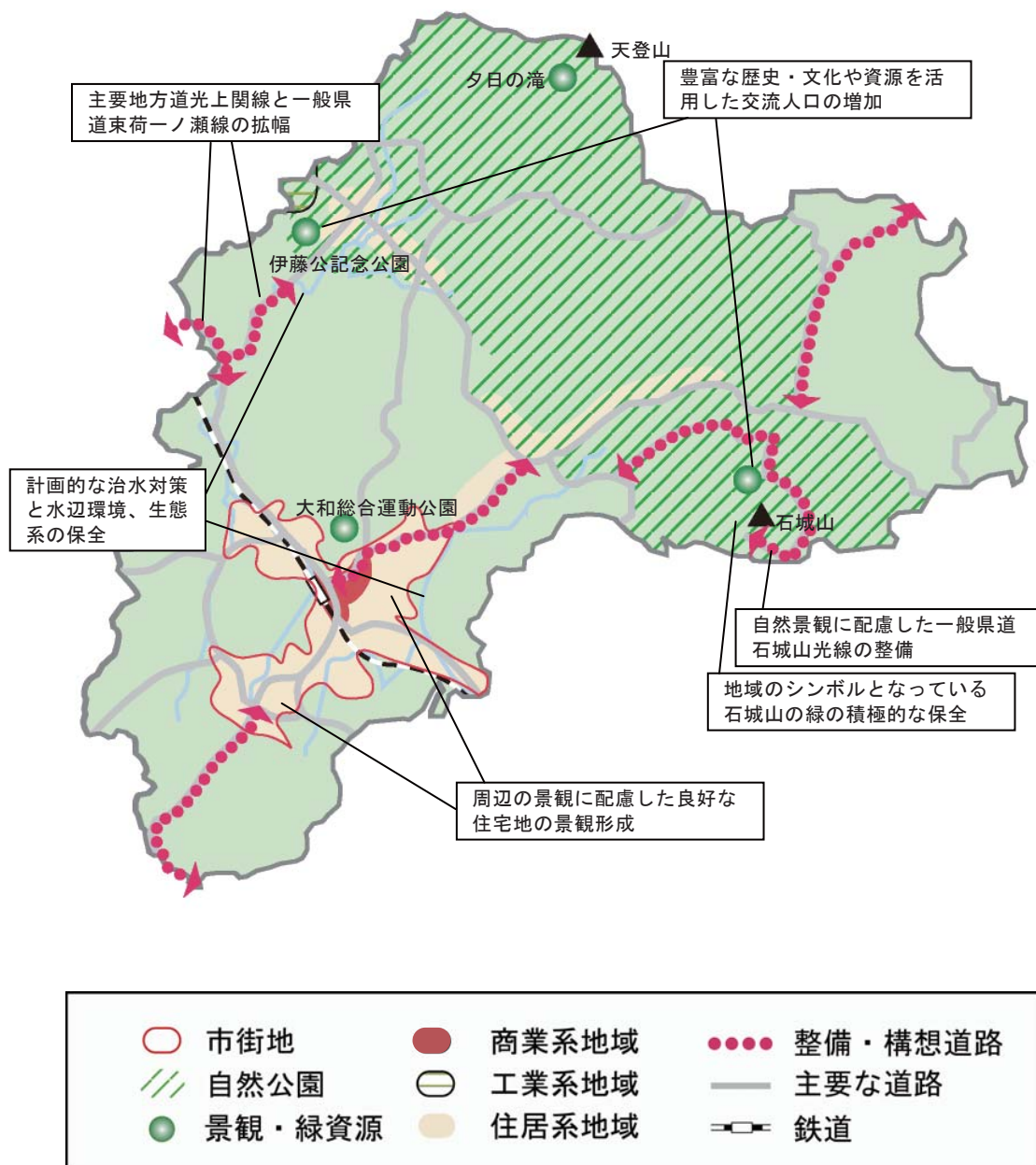
④ 住環境づくりの方針

- J R岩田駅周辺地区では、土地区画整理事業など道路と宅地を一体とした面的な整備の実施について、調査・研究を行います。
- 用途地域が定められた地域については、周辺の景観に配慮した良好な住宅地の景観形成に努めます。
- 市営溝呂井住宅については、コンパクトなまちづくりの視点も踏まえ、非現地建替えを進めます。
- 束荷地区など未給水地域での配水施設整備を行い、水の安定給水に努めます。
- 適切な汚水処理を行うため、公共下水道の整備や浄化槽の設置を進めます。
- 用途白地地域の集落においては、良好な農山村景観に配慮した低層な住環境づくりを進めます。

⑤ その他の施設の方針

- J R岩田駅周辺の公共施設の建替えにあたっては、再配置を検討します。
- 小・中学校や保育園については、計画的に耐震化を進めます。
- 周南東部環境施設組合のリサイクルセンターと埋立処理場については、適切な運営に努めます。

■ 整備方針図

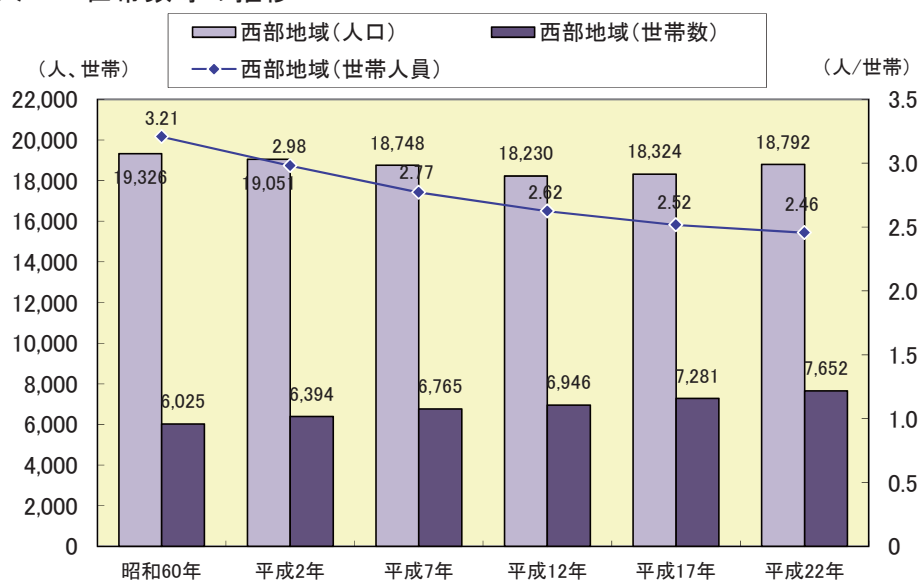


3 西部地域

(1) 西部地域の特性と課題

- 本市の玄関口であるJR光駅や国道188号沿道の市街地には、商業機能や光総合病院などの公共施設等が集積しています。都市拠点としての駅周辺地区に都市機能の集積を図り、都市のにぎわいと生活の利便性の向上が求められます。
- 白砂青松の虹ヶ浜海岸は、市街地に近接してまとまりのある自然環境を有しています。また、中心部を流れる島田川の河口部に、市街地が形成されています。自然環境を保全するとともに、健康づくりと防災対策にも配慮した都市づくりが求められます。
- 市街地周辺には虹ヶ丘などの住宅団地が立地しており、利便性の高い住宅地を形成しています。また、幹線道路の背後地には低層住宅地が広がり、その周辺は自然環境に囲まれた良好な住宅地が形成されています。
- 国道188号沿道において、産業と住宅が混在している地域がみられます。また、市街地周辺の住宅地においては、自然環境と共生した良好な低層住宅地の維持が求められます。

■ 人口・世帯数等の推移



出典：国勢調査

(2) 西部地域の都市づくりに関する住民意向

災害に強い都市づくりや公共施設等の使いやすさが求められており、地域の中学生は、まちの景観や中心部のにぎわいを重視した都市づくりを望んでいます。また、高齢者や障害者の生活のしやすさや、防災・防犯対策において、重点的な改善が求められています。

なお、商業地の土地利用の方向性について、駅周辺など中心部の求心力を高める人の割合が他の地域より高くなっているほか、良好な住環境等を守るため、建物の種類や高さを制限することが望ましいと考える人の割合も高くなっています。

○ 市民アンケート調査、中学生アンケート調査における意見

【満足度と重要度の分布より】

| | 16歳以上の地域住民 | 地域の中学生 |
|-----------------|--|---|
| 重点改善領域に分類された取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ ・ 地震防災対策 ・ 土砂災害・風水害対策 ・ まちの防犯対策 ・ 身近にある子どもの遊び場の整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大地震のときの災害を防ぐ対策 ・ 大雨や台風のときに洪水や土砂崩れなどを防ぐ対策 ・ 避難場所・避難路の分かりやすさ ・ まちの防犯対策 ・ 地球温暖化を防ぐため温室効果ガスの排出の抑制 |
| 重点維持領域に分類された取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 買物の便利さ ・ 上水道や給水施設の整備 ・ 下水道や浄化槽の整備 ・ 大気汚染・水質汚濁の防止 ・ ごみのリサイクル化などの取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路（歩道）の歩きやすさ ・ ごみのリサイクル化などの取組み ・ 森林や海岸など自然の環境を守ること |

【今後、重点的に取り組むべきもの】

| | 16歳以上の地域住民 | 地域の中学生 |
|-----|----------------------|--------------------------|
| 第1位 | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ | ・ 大地震のときの災害を防ぐ対策 |
| 第2位 | ・ 身近にある子どもの遊び場の整備・充実 | ・ 地球温暖化を防ぐため温室効果ガスの排出の抑制 |
| 第3位 | ・ 子育て環境の充実 | ・ お年寄りや障害のある人の生活のしやすさ |

○ 地域別ワークショップにおける意見

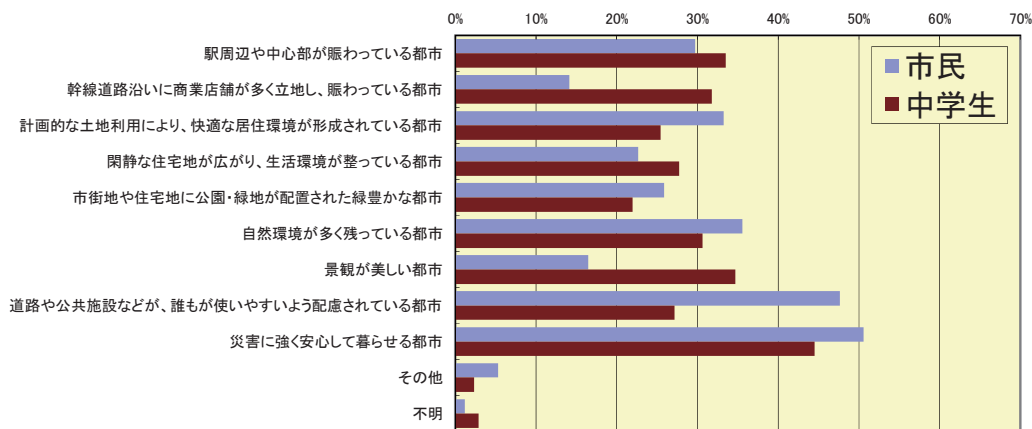
【地域の問題点・困っているところ】

| | グループ1 | グループ2 | グループ3 | グループ4 |
|-----|----------------------|-------------------|---------------------|--------------------|
| 第1位 | ・ 幅員の狭い道路の整備 | ・ 土砂災害・風水害対策 | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ |
| 第2位 | ・ 身近にある子どもの遊び場の整備・充実 | ・ 道路（歩道）の歩きやすさ | ・ 地震防災対策 | ・ その他（島田川のアシの繁茂） |
| 第3位 | ・ 広域（市外）へのアクセスのしやすさ | ・ 避難場所・避難路の分かりやすさ | ・ 広域（市外）へのアクセスのしやすさ | ・ 駅周辺や市街地の都市景観の美しさ |

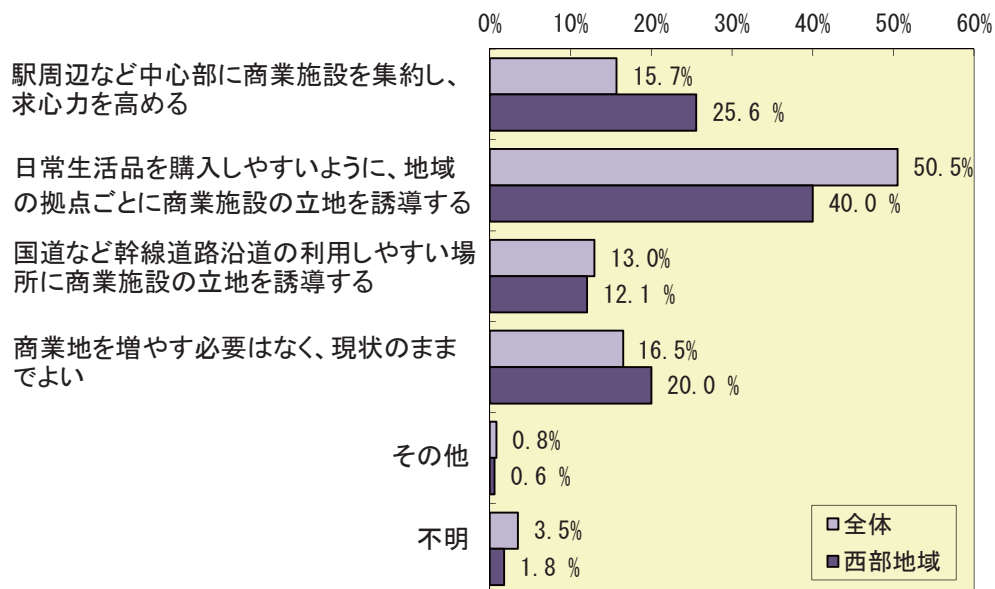
【地域のお宝・優れているところ】

| | グループ 1 | グループ 2 | グループ 3 | グループ 4 |
|-------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 第 1 位 | ・ 海岸や眺望などの風景の美しさ | ・ 森林や海岸などの自然環境の保全 | ・ 海岸や眺望などの風景の美しさ | ・ 海岸や眺望などの風景の美しさ |
| 第 2 位 | ・ 動植物などの多様な生物との共生 | ・ 海岸や眺望などの風景の美しさ | ・ 上水道や給水施設の整備 | ・ 上水道や給水施設の整備 |
| 第 3 位 | ・ 子育て環境の充実 | ・ 買物の便利さ | ・ 森林や海岸などの自然環境の保全 | ・ 森林や海岸などの自然環境の保全 |

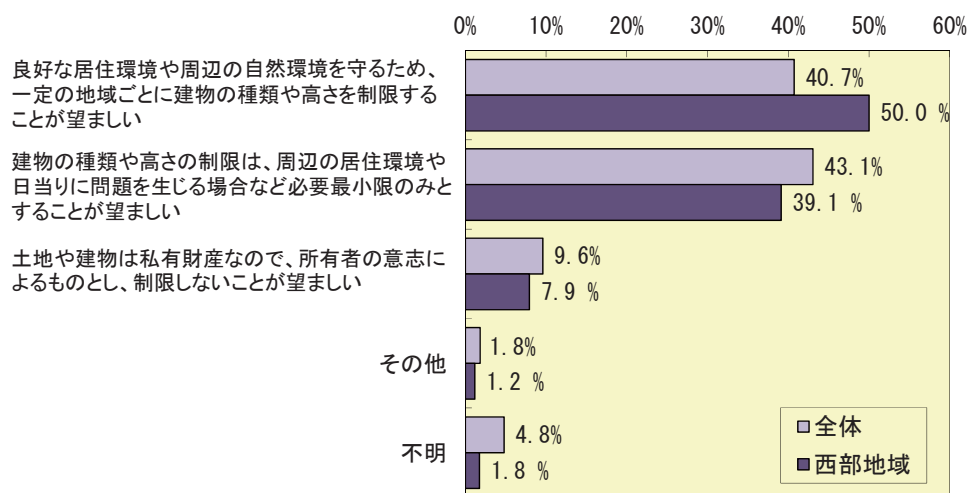
【光市の将来の姿】



【商業地の今後の土地利用のあり方として、望ましい方向性】



【土地利用の制限について、良好な居住環境を形成するために重要なこと】



(3) 西部地域の都市づくりの方針

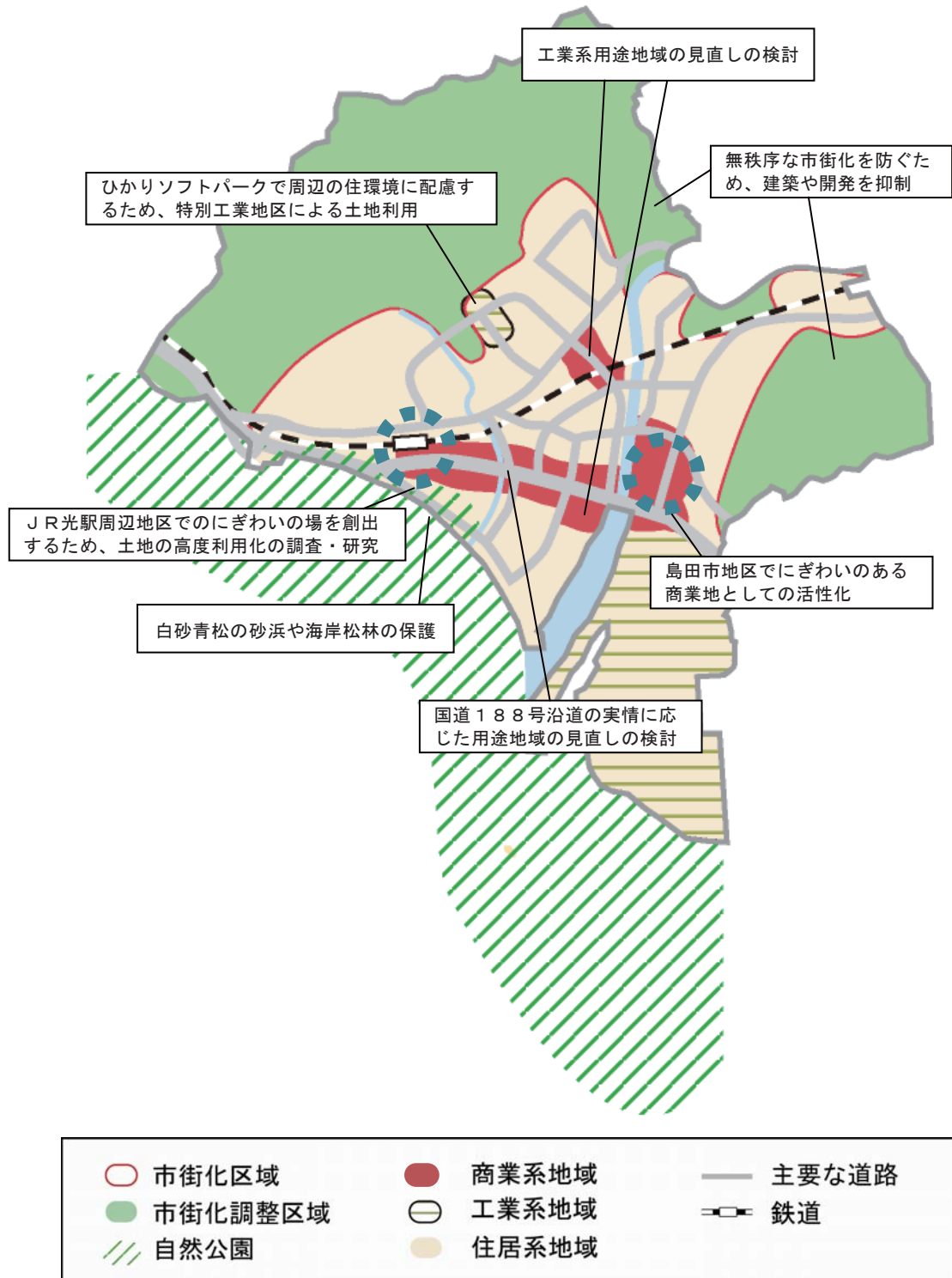
都市拠点に位置付けた J R 光駅周辺地区への都市機能の形成を目指します。また、島田市地区においても商業機能を維持するとともに、交流の場づくりを進めます。

美しい自然海岸が残されている虹ヶ浜海岸や島田川の自然環境を守り、市民とのふれあいの場や広域的な利用促進を目指します。市街地や住宅地における自然エネルギーの導入、自然環境との共生により、地球環境に配慮した地域づくりを目指します。市街地周辺の利便性を活かした居住空間を維持し、自然と共生した良好な住宅地の形成を目指します。

① 土地利用の方針

- 都市拠点であり、交通結節点でもある J R 光駅周辺地区については、にぎわいの場を創出するため、土地の高度利用化について調査・研究を行います。
- 浅江地区の国道 1 8 8 号沿道の用途地域については、実情に応じた見直しを検討します。
- 島田地区については、にぎわいのある商業地域として活性化を図ります。
- 宮ノ下町や木園一丁目、浅江五丁目の工業系の用途地域が定められている地域については、商業施設の立地や市民の動態などの観点から見直しを検討します。
- 「ひかりソフトパーク」については、周辺の住環境に配慮した特別用途地区（特別工業地区）を定め、企業誘致を推進します。
- 無秩序な市街化を防ぐため、市街化調整区域においては、建築や開発を抑制します。

■ 土地利用方針図



② 道路・交通体系の方針

- 都市計画道路瀬戸風線及び虹ヶ丘森ヶ峠線については、早期の完成を目指します。
- 沿道で宅地開発が進行しつつある都市計画道路原線の整備に努めます。
- 郊外と市中心部を連絡する幹線道路である都市計画道路島田市島田駅前線については、交通安全対策上からも早期の整備に努めます。
- 国道188号沿道など幹線道路において、良好な市街地景観の創出のため、屋外広告物の独自の規制について、検討します。
- 長期間にわたって整備されていない都市計画道路川園線の国道188号以南の区間について、必要性を検討します。
- 都市計画道路花園大平線については、経路の変更を含めた見直しを検討します。
- 浅江地区を横断する新たな道路整備を検討します。
- JR光駅駐車場を機械化し、交通結節点としての機能と利便性の向上を図ります。

③ 水とみどりの方針

- 防風林、防砂林としての機能を有する虹ヶ浜海岸や虹ヶ浜西緑地の松林については、積極的に保全します。
- 島田川の定期的な浚渫の実施に努め、治水上の安全を確保します。また、水鳥など多様な動植物の生息や繁殖に配慮した川づくりに努めます。
- 浅江地区の排水対策について、調査・研究を行います。
- 大蔵池公園の適切な管理に努め、利用促進を図ります。
- 潮音寺山や門蔵山については、環境保全型自然公園として整備を検討します。
- 浅江神社は自然環境保全地域に指定されており、積極的に保全します。
- 鶴羽山や茶臼山については、地域のシンボルとして、保全に努めます。
- 工場敷地内の緑化や緩衝の役割を有する緑地の維持促進に努めます。
- 瀬戸内海国立公園に指定されている虹ヶ浜海岸については、白砂青松の砂浜や松林の保護に努めます。また、美しい自然景観に配慮した高潮対策を促進します。

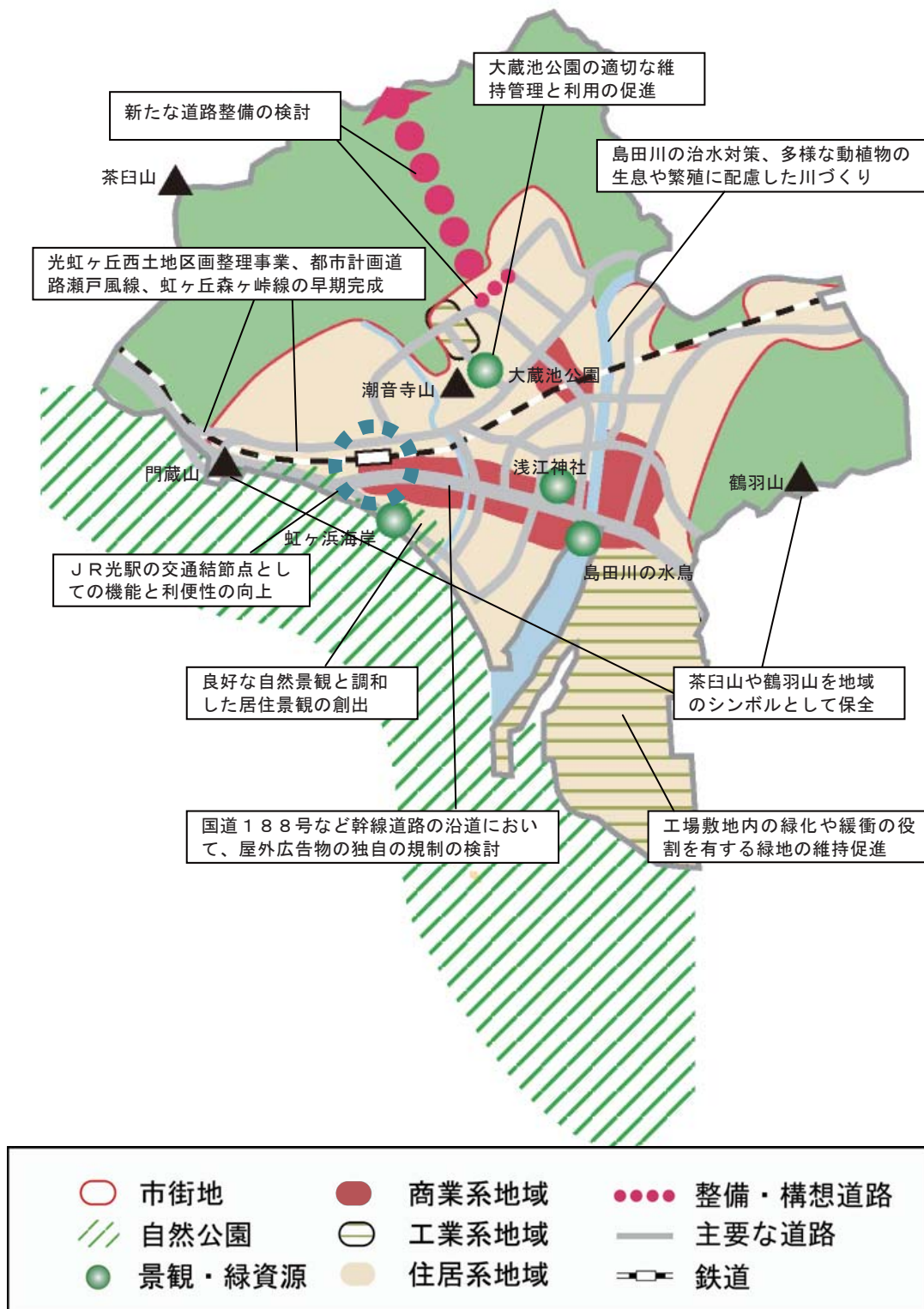
④ 住環境づくりの方針

- 都市計画道路瀬戸風線と虹ヶ丘森ヶ峠線の整備に関連した光虹ヶ丘西土地区画整理事業については、早期完成に努めます。
- 恵まれた自然環境や住環境に配慮した景観形成に努めます。
- 虹ヶ浜海岸に近接する住宅地については、良好な自然景観と調和した居住景観の創出に努めます。
- 適切な汚水処理を行うため、公共下水道の整備や浄化槽の設置を進めます。

⑤ その他の施設の方針

- 市民ホールについては、優れた芸術・文化活動等に親しむことのできる施設として、良好な維持に努めます。
- 地域づくり支援センターについては、市民参画による地域活動の拠点として、機能の充実に努めます。

■ 整備方針図

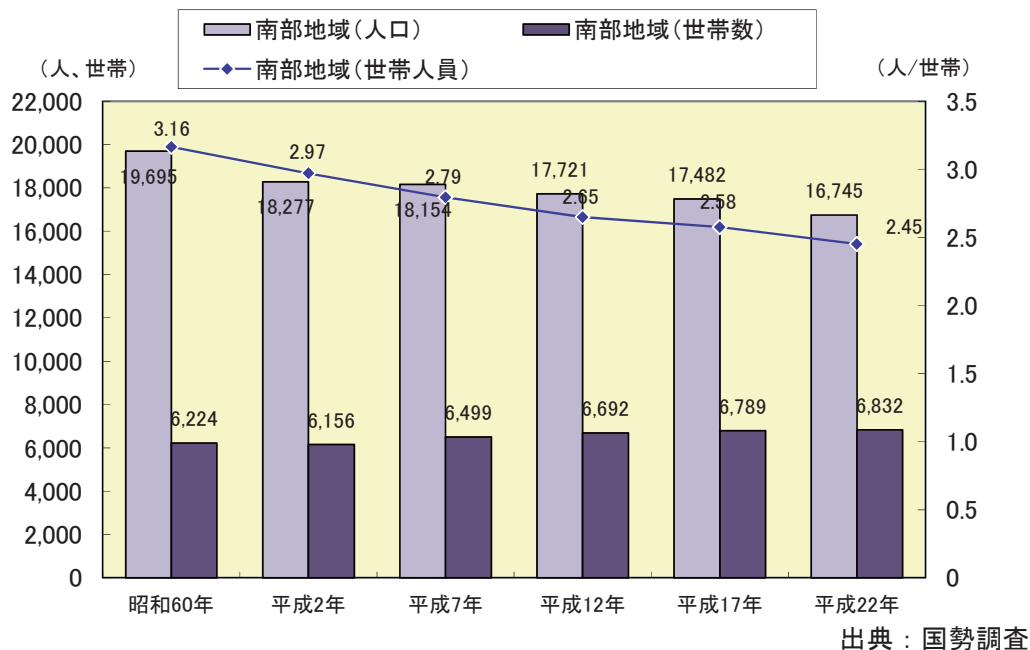


4 南部地域

(1) 南部地域の特性と課題

- 室積地区は、歴史的な町並みや資源が残る一方で、木造住宅や狭隘道路による密集した住宅地が形成されており、歴史・文化資源の保全とともに密集住宅地の改善が求められます。アンケート調査においても、歩行者のための道路整備や高齢者等の生活のしやすさが求められており、安全な地域づくりに向けた改善が求められます。
- 室積海岸や峨嵋山などの地域を特徴付ける自然資源、山並みや棚田などの山林・農地を保全するとともに、地域の活性化や生業として活用していくことが必要です。また、緑の拠点である冠山総合公園やコバルトラインを活用し、地域内の自然環境の有機的なネットワークを形成することで、地域が一体となった自然資源の保全・活用が求められます。
- 室積・光井地区は鉄道駅から離れていることもあり、公共交通や買物などの生活利便性の向上が求められます。特に、伊保木地区などの集落地では人口減少・高齢化が進んでおり、高齢者等の生活のしやすさとともに、地域コミュニティの維持が求められます。アンケート調査においても、交通や買物の利便性向上に向けた改善が求められています。
- 光井地区は、市役所や警察署など公共機関が集積する行政の拠点であるとともに、光スポーツ公園や山口県スポーツ交流村といった豊かで健やかな暮らしの土台をつくるスポーツとレクリエーションの拠点でもあります。市民のやすらぎ空間のますますの充実とともに、海と山に挟まれた細長い地域であることから、自然災害の脅威を防ぐ安全なまちをつくることが求められています。

■ 人口・世帯数等の推移



(2) 南部地域の都市づくりに関する住民意向

災害に強い都市づくりや公共施設等の使いやすさが求められており、地域の中学生は、商業立地によるにぎわいや景観が美しい都市づくりを求めています。また、交通、買物の利便性や高齢者等の生活しやすさにおいて、重点的な改善が求められています。全市的にごみのリサイクル化などの意識が高い中、市民と行政との協働による環境保全活動を求める意見が他地域に比べ多くなっています。

○ 市民アンケート調査、中学生アンケート調査における意見

【満足度と重要度の分布より】

| | 16歳以上の地域住民 | 地域の中学生 |
|-------------------------|--|--|
| 重点改善領域 に分類された 取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ バスや鉄道の利用しやすさ ・ 買物の便利さ ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ ・ 地震防災対策 ・ 土砂災害・風水害対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市外へ出かけるときの交通手段の便利さ ・ 買物の便利さ ・ 大地震のときの災害を防ぐ対策 ・ 大雨や台風のときに洪水や土砂崩れなどを防ぐ対策 ・ 避難場所・避難路の分かりやすさ ・ 地球温暖化を防ぐため温室効果ガスの排出の抑制 |
| 重点維持領域 に分類された 取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路（歩道）の歩きやすさ ・ 上水道や給水施設の整備 ・ 下水道や浄化槽の整備 ・ 大気汚染・水質汚濁の防止 ・ ごみのリサイクル化などの取組み ・ 森林や海岸など自然環境の保全 ・ 海岸や眺望などの風景の美しさ | <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみのリサイクル化などの取組み ・ 森林や海岸など自然の環境を守ること ・ 寺や神社、文化財など歴史・文化的な財産の保護 |

【今後、重点的に取り組むべきもの】

| | 16歳以上の地域住民 | 地域の中学生 |
|-----|-------------------|--|
| 第1位 | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ | ・ 買物の便利さ |
| 第2位 | ・ 買物の便利さ | ・ スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備・充実 |
| 第3位 | ・ バスや鉄道の利用しやすさ | ・ 市外へ出かけるときの交通手段の便利さ ・ 身近にある子どもの遊び場の整備・充実 |

○ 地域別ワークショップにおける意見

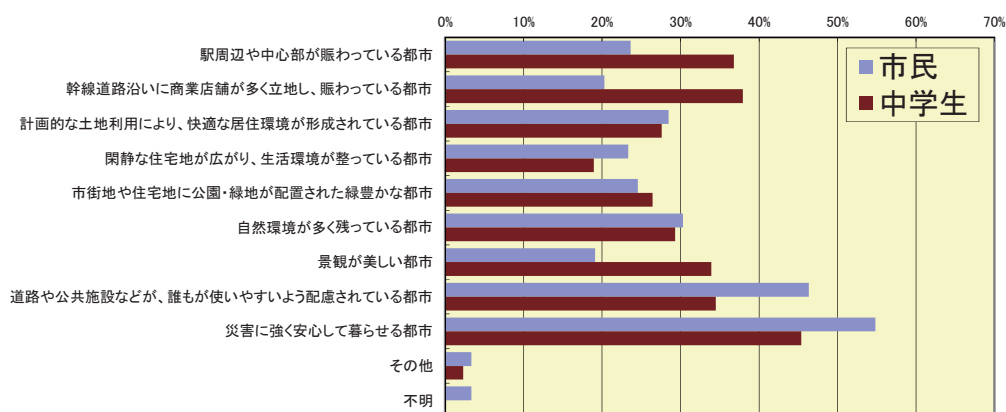
【地域の問題点・困っているところ】

| | グループ1 | グループ2 | グループ3 | グループ4 |
|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 第1位 | ・ バスや鉄道の利用しやすさ | ・ 地震防災対策 | ・ 土砂災害・風水害対策 | ・ 買物の便利さ |
| 第2位 | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ | ・ バスや鉄道の利用しやすさ | ・ 下水道や浄化槽の整備 |
| 第3位 | ・ 買物の便利さ | ・ 土砂災害・風水害対策 | ・ 森林や海岸などの自然環境の保全 | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ |

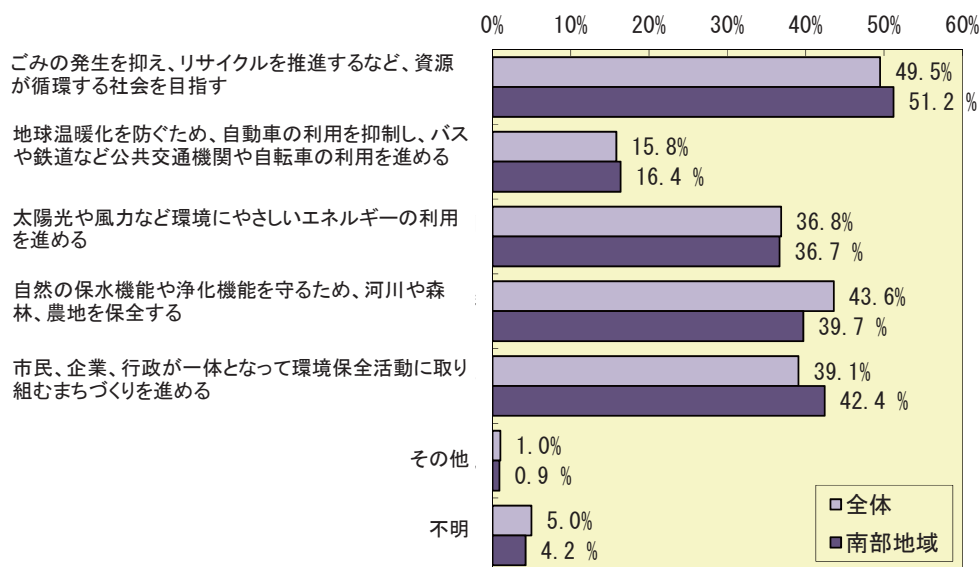
【地域のお宝・優れているところ】

| | グループ 1 | グループ 2 | グループ 3 | グループ 4 |
|-------|------------------------|-------------------|------------------|-------------------|
| 第 1 位 | ・ 海岸や眺望などの風景の美しさ | ・ 海岸や眺望などの風景の美しさ | ・ 海岸や眺望などの風景の美しさ | ・ 海岸や眺望などの風景の美しさ |
| 第 2 位 | ・ 上水道や給水施設の整備 | ・ 子育て環境の充実 | ・ 道路（歩道）の歩きやすさ | ・ 森林や海岸などの自然環境の保全 |
| 第 3 位 | ・ 寺社や文化財など歴史的・文化的景観の保全 | ・ ごみのリサイクル化などの取組み | ・ 子育て環境の充実 | ・ ごみのリサイクル化などの取組み |

【光市の将来の姿】



【環境に関して、優先度が高い取組み】



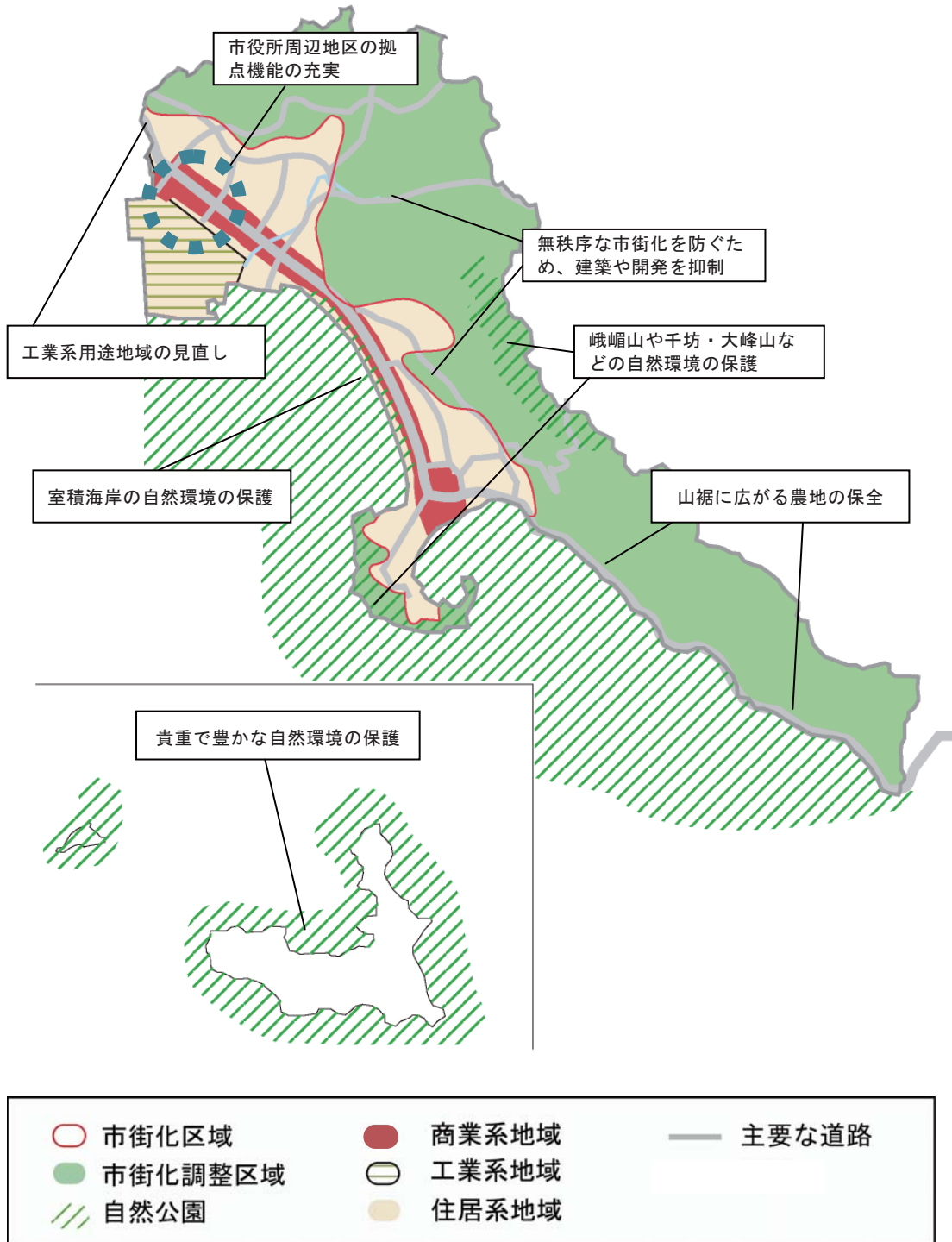
(3) 南部地域の都市づくりの方針

都市拠点に位置付けた市役所周辺地区へ都市機能を集約するとともに、道路・交通体系を強化し、他の拠点地区との連携を図ります。また、白砂青松の室積海岸をはじめとして峨嵋山や千坊・大峰山などの恵まれた自然の保護に努めるとともに、山裾に広がる農地の保全に努めます。

① 土地利用の方針

- 市役所周辺地区は、公共施設や文教施設が立地する中心地であり、拠点機能の充実に努めます。
- 中央四丁目と中央六丁目の工業系の用途地域が定められている地域については、土地利用の実態や周辺環境との調和を考慮し、見直しを検討します。
- 瀬戸内海国立公園に指定されている室積海岸や峨嵋山、千坊・大峰山については、保護に努めます。
- 無秩序な市街化を防ぐため、市街化調整区域においては、建築や開発を抑制します。

■ 土地利用方針図



② 道路・交通体系の方針

- 都市計画道路虹ヶ丘森ヶ峠線の未整備区間については、経路の変更を含めた見直しを検討します。
- 都市計画道路新開神田線の未整備区間については、経路の変更を含めた見直しを検討します。
- 室積地区を東西に連絡する市道室積19号線の拡幅改良に努めます。
- 市道中央脇田線の早期完成に努めるとともに、市道戸仲森ヶ峠線への延伸について調査・研究を行います。
- 室積地区と光井地区とを連絡する新たな道路の整備について調査・研究を行います。
- 地域住民の利便性の向上のため、コミュニティバスなどの導入を検討します。

③ 水とみどりの方針

- 国指定天然記念物「峨嵋山樹林」や県指定天然記念物「クサフグ産卵地」など貴重な自然の保護に努めます。
- 国指定天然記念物「カラスバト」が生息する牛島については、恵まれた自然環境の保護に努めます。
- 工場敷地内の緑化や緩衝の役割を有する緑地の維持促進に努めます。
- 瀬戸内海国立公園に指定されている室積海岸については、白砂青松の砂浜や松林の保護に努めます。
- 光スポーツ公園や総合体育館、山口県スポーツ交流村をスポーツ・レクリエーションの核として、機能の充実に努めます。
- 鮎婦、宝来山、岩屋の原生自然環境保全地域は、原生の状態が維持された貴重な自然が残されているため、積極的に保全します。
- 戸仲地区及び松原地区において、自然景観に配慮した海岸保全施設整備事業を実施し、海岸侵食の防止を図ります。

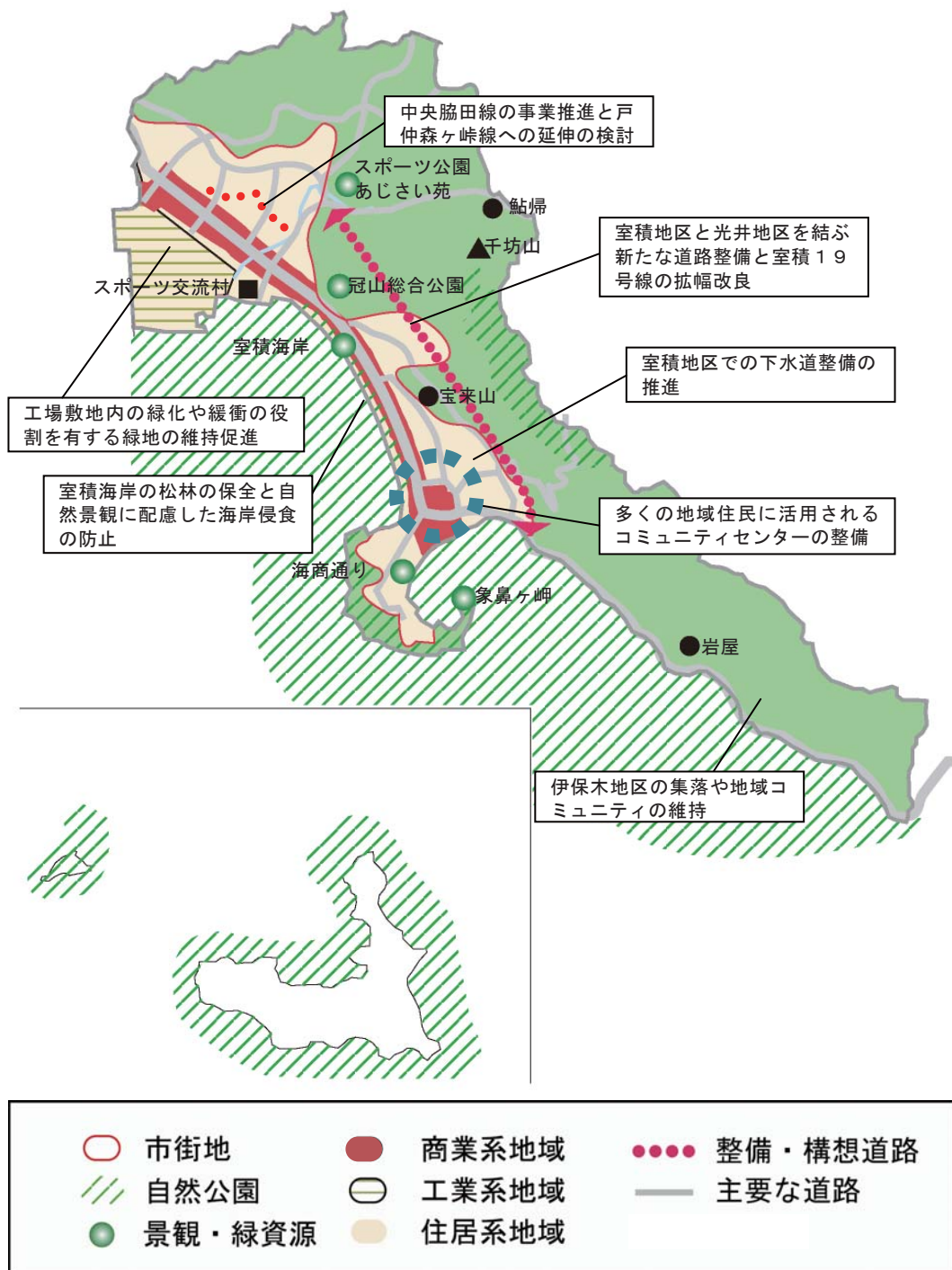
④ 住環境づくりの方針

- 適切な汚水処理を行うため、公共下水道の整備が遅延している室積地区での管路施設の整備や浄化槽の設置を進めます。
- 室積正木や室積中央町など、狭隘な道路に囲まれた密集市街地では、土地区画整理事業や共同建替えなどの調査・研究を行います。
- 市道中央脇田線の事業推進のため、周辺地と一体的な利便性の向上を図る土地区画整理事業を視野に入れた検討を進めます。
- 人口減少の著しい伊保木地区については、集落や地域コミュニティを維持するため、「地区計画」も視野に入れた対策について調査・研究を行います。

⑤ その他の施設の方針

- 新たな地域コミュニティの拠点となる（仮称）室積コミュニティセンターの整備にあたっては、より多くの地域住民に活用される施設を目指した検討を行います。
- 学校給食センターの整備にあたっては、周辺住環境や農地等への影響に配慮した整備に努めます。

■ 整備方針図

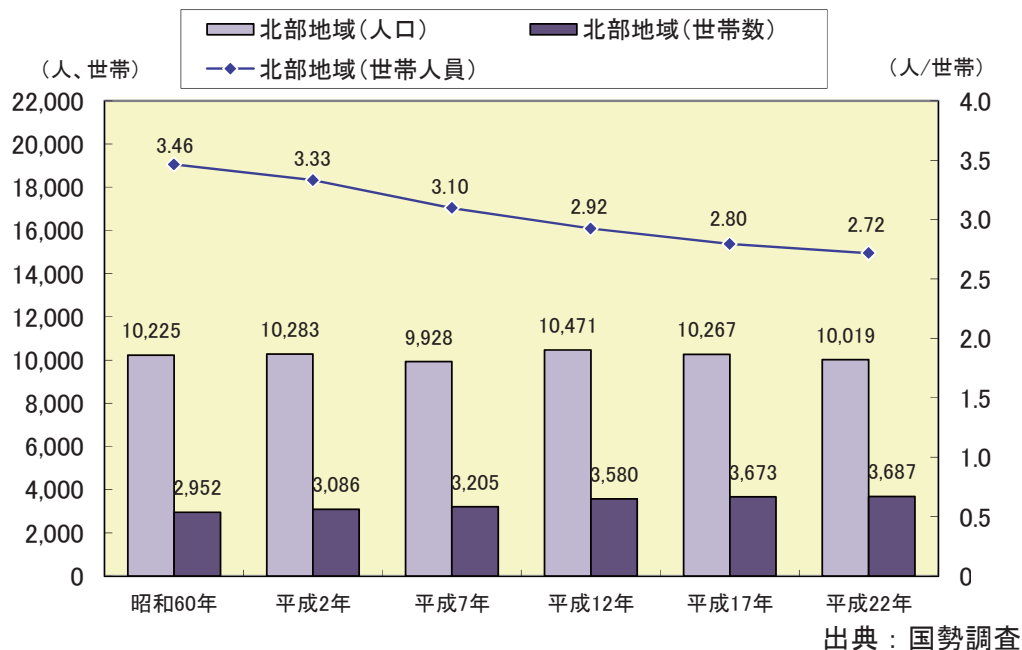


5 北部地域

(1) 北部地域の特性と課題

- JR島田駅周辺は、鉄道、バスなど地域の交通拠点としての役割に加え、母なる川島田川をはじめとした自然環境とのふれあいや、それを取り囲むように、三島温泉健康交流施設や公民館、農村婦人の家など、市民の憩いと交流拠点としての役割を担っています。こうした、市民のやすらぎと健康づくりの空間を創出していくとともに、交通拠点としての機能を高めることで、地域の隅々まで行き届いた生活利便性の向上を図り、子どもから高齢者まで元気に過ごせるまちの形成に努めていくことが求められています。
- 地域内には、貴重な文化財・遺跡やホテルの生息する美しい川、どこまでも続く田園の風景、四季折々に違った顔を見せる壮観な山々など、次代に残していくべき地域の宝が多く存在しています。こうした里山の風景やまとまりのある農業環境の保全を図るとともに、自然災害の抑制の視点から、河川の雨水対策をはじめとした安全な地域づくりを進め、次世代へと受け継いでいくことが求められています。
- 「周防工業団地」は、高速道路へのアクセスに優れた特性を有しており、多くの工場が立ち並んでいます。今後新たな工業団地の可能性の検討を進めていくとともに、工業発展のための産業基盤整備を進めていくことが必要となっています。また、新たに都市計画区域に編入された小周防・立野地区は、住宅地と工業地の緩衝をはじめとした計画的な土地利用が求められています。
- 地域内には昭和中期に造成された住宅地や集落が点在し、狭隘な道路や住民の高齢化に伴う維持管理の困難化などの問題を抱えています。こうしたことから、快適な暮らしを支える生活基盤の整備・充実や移動手段の確保など、暮らしにやさしさと活気をもたらす居住環境づくりが求められています。

■ 人口・世帯数等の推移



(2) 北部地域の都市づくりに関する住民意向

道路整備やバス、鉄道の利便性、買物の便利さなど、日常生活に関わりの大きい分野の改善が求められています。地域の中学生は、景観の美しさや快適な居住環境を重視した都市づくりを求めています。

なお、防災対策を求める意見が多い中、他の地域と比較して治水対策の実施を求める意見が多くなっており、島田川流域における治水対策が求められています。また、工業地のあり方として、工場を工業団地等へ移転・集約することが望ましいと考える人の割合が多くなっています。

○ 市民アンケート調査、中学生アンケート調査における意見

【満足度と重要度の分布より】

| | 16歳以上の地域住民 | 地域の中学生 |
|-----------------|---|--|
| 重点改善領域に分類された取組み | <ul style="list-style-type: none"> 道路の通行しやすさ（自動車・バイク・自転車） バスや鉄道の利用しやすさ 買物の便利さ 幅員の狭い道路の整備 高齢者・障害者の生活のしやすさ 地震防災対策 土砂災害・風水害対策 身近にある子どもの遊び場の整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> 買物の便利さ 大雨や台風の際に洪水や土砂崩れなどを防ぐ対策 避難場所・避難路の分かりやすさ まちの防犯対策 |
| 重点維持領域に分類された取組み | <ul style="list-style-type: none"> 上水道や給水施設の整備 騒音・振動・悪臭などの公害対策 大気汚染・水質汚濁の防止 ごみのリサイクル化などの取組み 森林や海岸など自然環境の保全 | <ul style="list-style-type: none"> ごみのリサイクル化などの取組み 森林や海岸など自然の環境を守ること |

【今後、重点的に取り組むべきもの】

| | 16歳以上の地域住民 | 地域の中学生 |
|-----|--|----------------------------|
| 第1位 | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ | ・ 道路の通行しやすさ（自転車に乗るとき） |
| 第2位 | ・ 土砂災害・風水害対策 | ・ お年寄りや障害のある人の生活のしやすさ |
| 第3位 | ・ 道路（歩道）の歩きやすさ ・ 身近にある子どもの遊び場の整備・充実 | ・ スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備・充実 |

○ 地域別ワークショップにおける意見

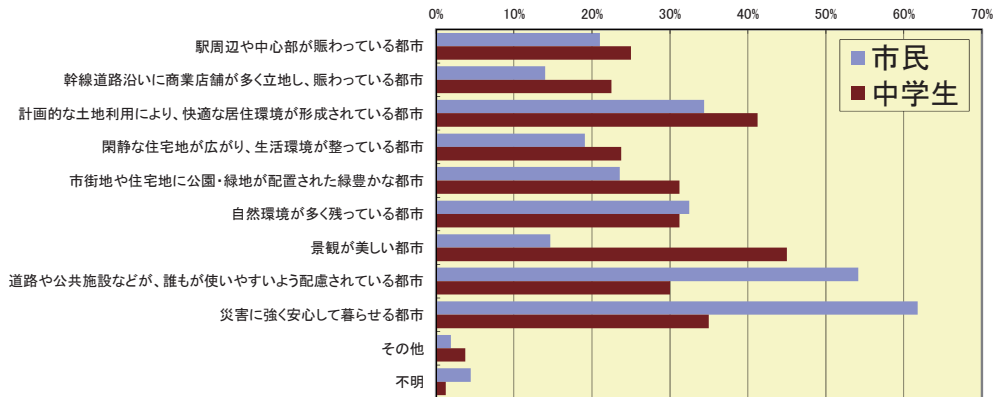
【地域の問題点・困っているところ】

| | グループ1 | グループ2 | グループ3 |
|-----|--------------|----------------------------|--------------------|
| 第1位 | ・ 下水道や浄化槽の整備 | ・ 幅員の狭い道路の整備 | ・ 買物の便利さ |
| 第2位 | ・ 買物の便利さ | ・ 土砂災害・風水害対策 | ・ 駅周辺や市街地の都市景観の美しさ |
| 第3位 | ・ 幅員の狭い道路の整備 | ・ スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備・充実 | ・ 高齢者・障害者の生活のしやすさ |

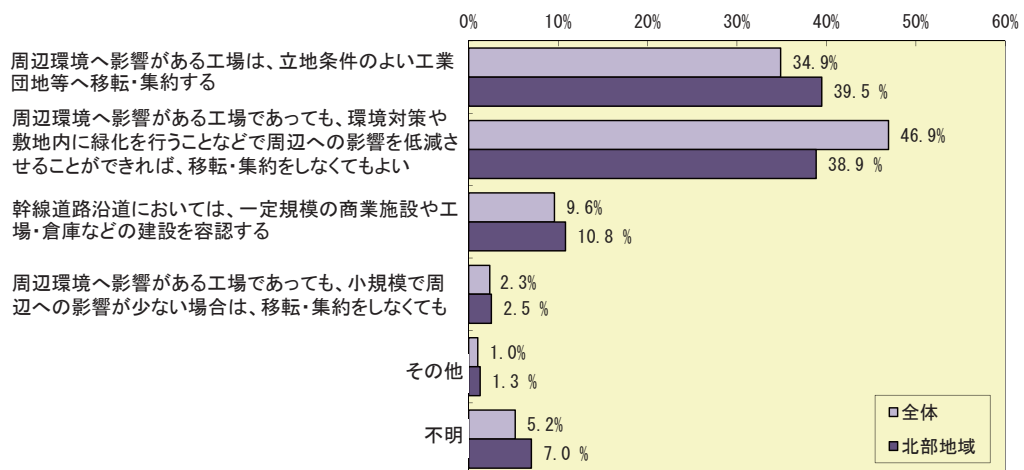
【地域のお宝・優れているところ】

| | グループ1 | グループ2 | グループ3 |
|-----|-------------------|-------------------|-------------------|
| 第1位 | ・ ごみのリサイクル化などの取組み | ・ 中山間地に広がる田園景観の保全 | ・ 子育て環境の充実 |
| 第2位 | ・ 中山間地に広がる田園景観の保全 | ・ 通勤・通学の便利さ | ・ 中山間地に広がる田園景観の保全 |
| 第3位 | ・ 騒音・振動・悪臭などの公害対策 | ・ まちづくりへの市民参画の機会 | ・ バスや鉄道の利用しやすさ |

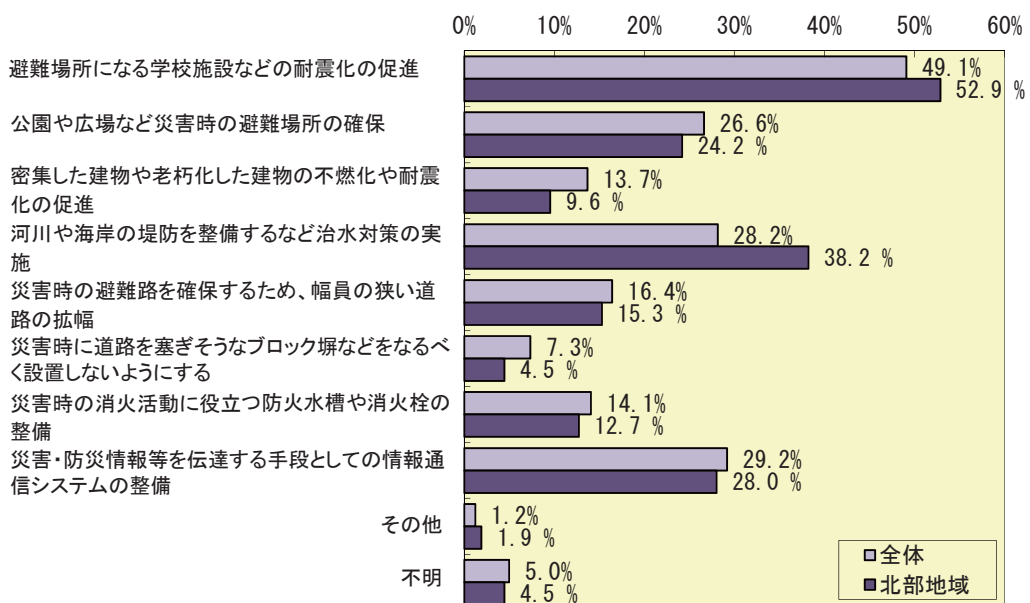
【光市の将来の姿】



【工場と周辺地の今後の土地利用のあり方として、望ましい方向性】



【防災対策に関して、優先度が高い取組み】



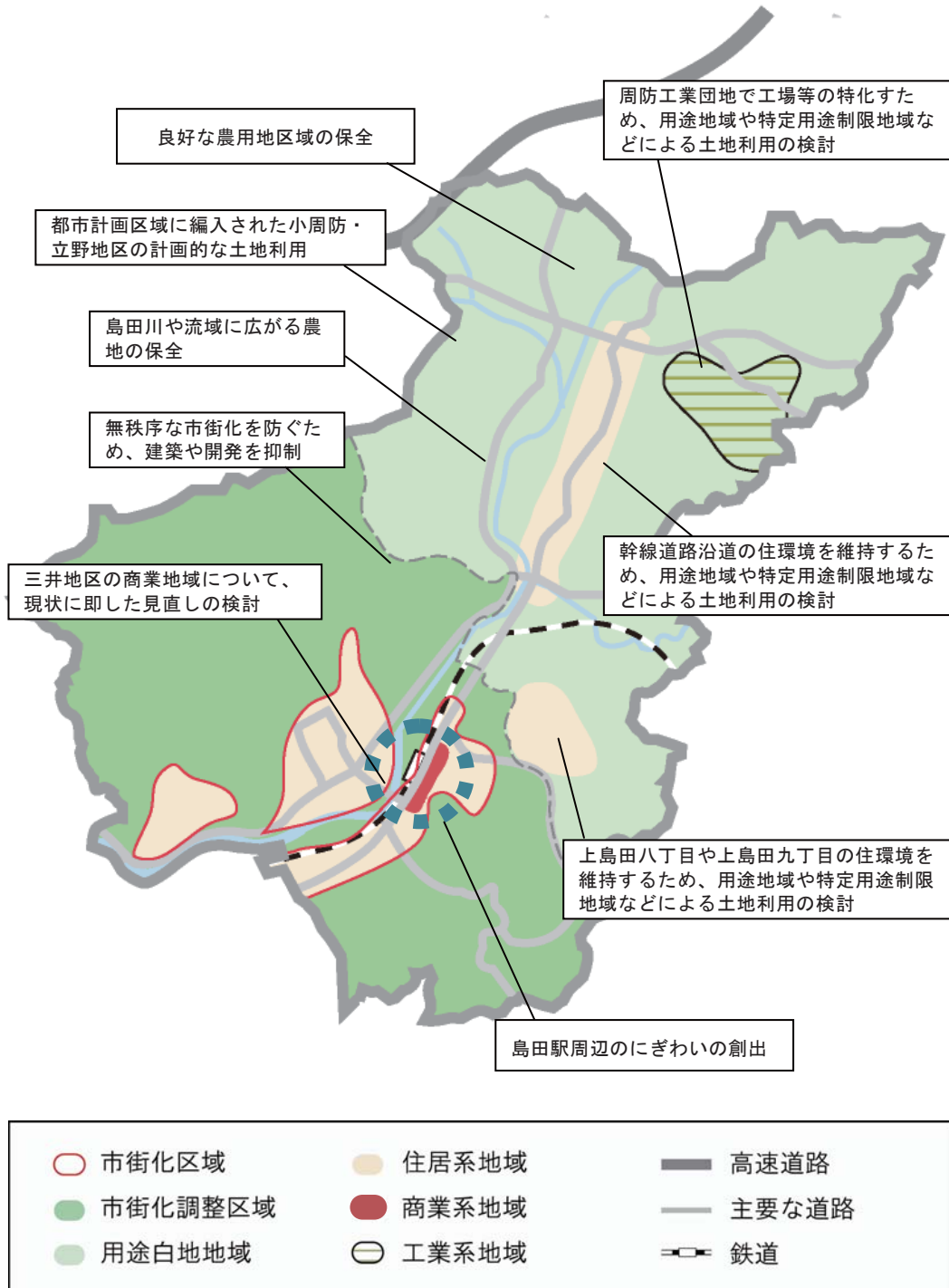
(3) 北部地域の都市づくりの方針

新たに都市計画区域に編入された小周防・立野地区の計画的な土地利用による良好な住環境の維持を目指します。また、島田川や流域に広がる農地の積極的な保全に努めます。JR島田駅や山陽自動車道熊毛インターチェンジに近接する特性を活かした広域的ネットワークや地域間連携による地域活性化を目指します。

① 土地利用の方針

- 三井地区の商業地域については、現状に即した用途地域の見直しを検討します。
- 都市計画区域に編入された上島田八丁目や上島田九丁目の住宅地については、現在の住環境を維持するため、用途地域や特定用途制限地域などによる土地利用を検討します。
- 「周防工業団地」については、区域の拡大等による「大和工業団地」との一体的な利用について調査・研究を行います。また、用途地域や特定用途制限地域などにより工場の立地に特化した土地利用を検討します。
- 無秩序な市街化を防ぎ、農地や森林の保全を図るため、市街化調整区域においては、建築や開発を抑制します。
- 良好な農用地区域を保全し、農業の振興に努めます。
- 小周防・立野地区の幹線道路の沿道においては、現在の居住環境を維持するため、用途地域や特定用途制限地域などによる土地利用を検討します。

■ 土地利用方針図



② 道路・交通体系の方針

- 一般県道光井島田線の整備を促進します。
- JR島田駅の交通結節機能を活用した生活・交通拠点としての充実に努めます。
- 一般県道光玖珂線については、車道の両側に歩道の設置を促進します。

③ 水とみどりの方針

- 島田川の治水対策として、計画的な改修を進めるとともに、生態系の積極的な保全を図ります。また、水辺環境を活用した憩いの場を創出します。
- 一の坂滝、溪月院は自然環境保全地域に指定されており、積極的に保全します。

④ 住環境づくりの方針

- 田園に囲まれた良好な住宅地の形成に努めます。
- 岩狩団地については、低層な住宅が広がる良好な住宅景観の形成に努めます。
- 適切な汚水処理を行うため、現在の公共下水道計画の排水区域の整備に努めます。その他の区域については、浄化槽の設置を促進します。

⑤ その他の施設の方針

- 三島温泉健康交流施設を活用して、市民の福祉の向上と健康増進を図るとともに、地域住民の交流拠点として活性化に努めます。
- 野外活動センター「周防の森ロッジ」の機能強化を図り、自然体験学習やレクリエーション活動を通じた青少年の健全育成や生涯学習の充実に努めます。

■ 整備方針図

